

或る地域を限つて娼家がある。今日の公娼制に似てゐる。兎に角車道の敷石にまで念入りの廣告である。處々歩道が二尺ばかりも車道より高くなつてゐる。斯る場所では向側の歩道からこちら側の歩道に横切る爲めに車道に飛び石が三個から五個まで置かれてゐる。飛び石のことであるから勿論同じ高さの石である。車道を河底と見たのはあながち僻目ではなかつた。降雨の際には諸方から集まる雨水はこの車道に流れ込む。溝の設備がないので車道は流水奔騰して俄かに河となる。斯る時車道を横切らんとする者の便を計つて飛び石を置いたのである。

車道の道幅は或る處は漸く一臺の車を通ずるに足る丈けのものがある。車道の中央に遺した轍跡より察してこれを遺したものは荷車でなかつたかと思はれる。行き交ふ車はこの狭き道を如何に通過したかの疑問が起る。この疑問に答へるものは前述の飛石のある車道横斷の箇所である。恰も單線の電車が往き來の電車を回避す

るが如き役目をなしてゐるのが飛石のある箇所である。今日大都會で見るが如く車馬がいくつも行き交ふ丈けの道幅がない。故に當時の人は昇床カキドのやうな物に乗つたのではないかと想像されてゐる。

新著紹介

アレクス・ラドー 政治經濟地圖、第一輯

ALEX RADO: ATLAS FÜR POLITIK

WIRTSCHAFT ARBEITERBEWEGUNG I. DER IMPERIALISMUS

本地圖は VERLAG FÜR LITERATUR UND POLITIK, WIEN/BERLIN より新たに發行されたものである。(定價一〇マルク)一六八頁より成り一三〇圖を含む最近の人文地理學界に於ては新らしき種々なる分野に於て注目すべき發展が成されつゝある様に思はれるが、そのうちにも地理學をば所謂机上の空論に止まらしめず、動きつゝある現實に關連して應用的方面たる地政學にまで發展さしつゝあるのは特に目立つた傾向であらうと思ふ。

而して一方我々の見てゐる地圖はどうかと言ふに從來の地形圖或は政治區劃圖、地名圖等であつて質的には何等の進展

を見せてゐない様に見える。

此處に新らしき地圖の誕生を喜ぶ。版が新しいのではなくて質的に新らしいからである。その内容を見るに

一、帝國主義の段階

帝國主義時代の始り(一八七五年頃)、第一次世界分割(一八七五—一九一四年)、世界大戰(一九一四—一九一八年)

第二次世界分割(一九一九—一九二九年)、一九二九年の歐洲、平和條約、世界大戰後の貨幣價值恐慌、來るべき戦争のための準備。

二、現代の世界列強

大英帝國の地位、アメリカ合衆國の地位、フランスの地位、イタリー及び日本の地位、小植民地國、ソヴェート同盟、國際聯盟。

三、原料産地と販賣市場

販賣地域、原料獲得戦争、世界通商、海上交通、世界支配權獲得戦争。

四、帝國主義の個々問題

ドイツの境界問題、イタリーの帝國主義、小聯合國、シエルト問題、大英帝國主義のソヴェート同盟包圍、ソヴェート同盟の攻撃地帯、前アジア(Vordarstien)、近東(Nahhe Osten)、極東(Ferne Osten)アフリカにおける英佛の對立、エジプトとアビシニヤ、モロッコ。

五、民族問題と經濟問題に關する諸圖より成る 第二輯以下如何なる地圖が現れるかは興味を以て待つべきである。幸に

も本地圖は邦譯されて希望閣(東京市神田區今川小路三ノ六)より出版された筈である。(定價二圓五〇錢)特に政治經濟地理學乃至地政學に關心を有せらるゝ方々の一讀を勧める。(島之夫)

○地理教材研究第十五輯

地理教材研究會 東京日
黑書店 定價一圓七十錢

本輯には西田君の歸朝土産としての、歐米地理學界の現況といふのがある、奈良地理學會夏期講習會で講演された筆記で歐米といつても、獨逸、佛蘭西、英國、米國の各大學の梗概をのべられた程度である、つぎに佐々木清治君の「城下町の研究」がある、宿驛の研究に健筆をふるわれた同君の學問は益々其の勢力範圍を擴大してきた、大に感激させられる本研究は主として元龜天正以後である、それ以前は「城下町」といふ名のつくものが殆どなかつたからである、城下町と街道。城下町の開廓。形體。没落課程等は讀んでも面白い。其外に帷子氏の中央ヨーロッパの構造、富田芳郎氏の瀬戸市の經濟地理をはじめ、北海道根室の農業、臺灣の地理、志摩半島の話等がのつてゐる、猶一卷からの總目次がのつた(F)

○人文地理學調査野外手帳

一郎著

東京白猫社 佐々木彦

これは非賣品である。佐々木君の考案で、野外研究の經濟地誌を書きつけるための帳面である。これを日本の各地の篤志家に配はつて、この本に注意しただけの調査を報告しても

らつたならば佐々木君の日本經濟地理郷土研究的地誌が出来上るであらうと考へる。予も少閑を得てどこか一ヶ村かいてみて送つてみやうかとも思ふ。(下)

雜報

○湯村温泉全景

湯村温泉(兵庫縣美方郡)は山陰線濱坂

驛の東南一〇キロ、岸田川の支流春來川の溪谷に在る。附近の地質は主として黒雲母花崗岩から成り、春來川の川底には第三紀の礫岩層が露はれる。温泉は此花崗岩を貫き略東西に近い方向に走る幅三〇米以上に及ぶ石英粗面岩の大岩脈と花崗岩との接觸部の裂罅から湧出する。此事實は接觸部の岩石が噴氣作用を蒙り且つ攝氏九十五度もある荒湯、井筒屋内湯及温泉浴場の泉源は岩脈の北側と花崗岩との接觸部との方向に並び又三好屋の微温泉は岩脈の南側から湧出してゐることから明かである。此熱泉は噴氣を伴ひ地熱利用の試験も行つて見たい氣がする。入湯用には自然冷却で適當に調節してゐる。泉質は無色、透明、弱アルカリ性で僅微の硫化水素臭がある。湯村は他の山陰温泉に比して交通不便のため其發展は一步遅れてゐるが何處までも他の遊覽温泉に對して保養温泉として存続せしめ度い。それは其泉質の優れた點と未だ野趣豊かであつて都人士の俗腸を洗ふに適好な温泉であるからである。新樹の蕪りいや高い今日此頃、春來川の潺々たる清流を聴

きつゝ出湯に浸り乍ら温泉情緒を味ふのも亦一興である。寫眞は清正公山公園から瞰下した湯村温泉全景である。

○アメリカ合衆國の空港

最近五年間アメリカ各都

市は適當なる航空終點の必要を痛感し各商業會議所、ロータリークラブ等は更に多くの好き空港建設の運動を怠らず、現今にて既に千六百餘の空港が出来、其中殆ど三百は中途臨時着陸場として官設のもの、他の三百は軍隊の使用の爲め、殘りの一千の空港は各都市用である、其増加の割合は毎月十乃至十二の割合で増加するので、建設中のものを加へると三千にも達するが、いつになつたら結末がつか見當がつかない小都市と雖も之を急がば他の都市を凌駕しようといふ競争があるからである。

従つて空港に對する投資は幾億弗に上つた、大都市の必要に應ずる新式の空港は數百萬弗をかけないと出来ない、ロスアンゼルス空港は三百萬弗をかけて完成しない、ニューヨークの新空港フワイドペンネットフィールドは既に二百五十萬弗を費し只今は追加支出中である、従つて大都市と雖も容易に之の公設が出来ないから、ワシントンやピッツバークの如き私立商業空港を持つに止まつてゐる。

空港の撰定條件は、濃霧の惧なきこと、悪氣流の惧なきこと、風向、必要なる廣さ、二百五十英里以上、敷地の形狀、交通路との關係、敷地附近の發展、敷地擴張の可能性、大航路との關係、人口中心よりの距離等の各種の條件によつて定